

**DoboX を活用した推定空き家の予測モデル構築・検証業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和 7 年 6 月 13 日（金）～令和 7 年 6 月 18 日（水）
2	場 所	書面審査
3	出席委員	委員長 土木建築局建築技術担当部長 委員 総務局施策形成支援チーム担当課長（代理：参事） 土木建築局建設 D X 担当課長 土木建築局建築課長 土木建築局住宅課長
4	議 題	提案書の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	土木建築局住宅課
6	開催方法	持ち回り（書面審査）
7	議事内容	提出された提案書について書面審査を行い、選定委員会において審査の上、得点の最も上位となった提案者を最優秀提案者として選定した。 審査結果については、別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。 1 提案者（最優秀提案者：◎） A：株式会社都市空間総合研究所・一般社団法人データクレイドル共同企業体 ◎ B：株式会社日建設計総合研究所 2 各委員の主な評価・選定理由 【提案者 A】 （評価項目） ・ 業務遂行にあたって重視する事項として、当該業務後の展開も含めた方針が明確に示されていた。 ・ 推定空き家の予測モデルの構築に関して、データ把握や推計手法などが具体的に提案されていた。 ・ 世帯状況など複合的なデータを基に推定空き家を予測するモデルが提案されており、より実態に即した予測が可能となることが期待される。 ・ 自治体が保有するデータを収集して「建物単位」で再集計する技術は実用的であるが、全ての建物での再現性や県内全域で統一された精度で展開できるのか気になった。 （総括） ・ 空き家の推計技術の第一人者である研究者の技術的助言を得ながら業務を実施することとなっており、先進的な取組となることが期待できる。 ・ 先進技術（A I や空間情報など）を社会実装した実績があり、空き家の予測モデルの構築において新たな技術の活用が期待できる。

	・ 業務内容を十分に理解し、実施方針・各作業工程について具体的な取組内容などが記載されており、円滑な事業実施及び実効性のある成果が期待できる。 【提案者B】 （評価項目） ・ 今回の業務を実施する経緯や目的を理解しており、具体的な工程を示すなど本業務に対する熱意を感じる。 ・ 実施行程において業務関連のポイントを視覚的に示しており、適切な履行が期待できる。 ・ 既往研究の調査結果を踏まえ、業務への活用を見据えたヒアリング先が提案されている。 ・ 各推計モデルの目的に即したパラメータの候補が整理されており、モデル構築に向けたアプローチが示されている。 ・ 国の調査研究の受託実績が豊富であり、その経験を生かした業務遂、データ活用や分析、視覚的表現などのクオリティが期待できる。 （総括） ・ いずれの評価項目に対しても、事業の趣旨と内容を十分に理解した上での提案となっている。特に、DoboXの現状・課題を踏まえ、その解決に資するモデル構築を目指している点が評価できる。 ・ 実績は十分あり、安定した業務の履行は期待できるが、アウトプットの具体性や発展性が若干少なく感じられた。
--	---